

放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 6 年 5 月 20 日

事業所名 : ステップサポートあつた

保護者等数(児童数) 11(11)回収数 10 割合 90 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9			1		・今後もその都度、環境設定の見直しを行っています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	8			2		・職員は適切に配置しております。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10					・今後もより良い設備等の検討をしていきます。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	10					・朝礼・終礼を実施することで毎日職員間で情報を共有し、業務の改善に努めています。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	10					・利用者や保護者の意見を取り入れたり、職員同士で話し合ってプログラムの改良を行っています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	3	3		・現在行っておりません。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10					・これからも継続していきます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10				・連絡帳やLINEなどで情報交換ができています。	・これからも継続していきます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10				・対面や電話等に対応してもらっています。	・これからも継続していきます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2	2	6		・今後、実施に向けて検討していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10				・何かあった時にはすぐに情報を頂き、対応をくださるので安心です。	・苦情があった場合には、速やかに対応させていただきます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10					・今後も連絡帳やLINEを活用して意思の疎通が図れるようにしていきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10					・SNSを使い動画等の多様な発信方法をとっています。
	14	個人情報に十分注意しているか	9			1		・これからも継続していきます。

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9			1		・定期的にマニュアルについて周知するようにいたします。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9			1		・毎月、非常災害を想定した避難訓練の実施や防災についての学習を行っています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10				・自宅でも事業所の話をして楽しんで通っています。	・今後も楽しんで通所してもらえるよう努力していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	10				・とても満足しています。	・今後も満足していただけるように努力していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日：令和 5 年 5 月 10 日

公表:令和 6 年 5 月 20 日

事業所名：ステップサポートあつた

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・広々としたスペースが確保されています。	・広々としたスペースをうまく利用した支援や構造化の工夫を進めるとともに、日々の児童の行動観察に努めています。
	2 職員の配置数は適切である	○		・より充実した支援が行えるよう、専門のスタッフの増員を図っていきます。	・これからも継続していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	・建物の2階に事業所があり、階段には手すりが設けてあります。室内は、和室、トイレ、事務所の前に少し段差があります。危険がないように、常に声掛け、階段の昇り降りは、必ず職員が付き添い、必要な児童は、職員と手を繋ぐなどしています。	・これからも、危険がないよう継続していくとともに、利用者が落ち着いて過ごしたり、活動に集中できるように、広々としたスペースをうまく利用した支援や工夫に努めてまいります。 ・階段や段差があることで、子どもたちも足元を意識したり、運動の一貫にもなったりします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・空気清浄機や加湿器を使用し、定期的に喚起をして、清潔で快適な環境づくりをしています。	・これからも継続していきます。
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・朝礼、終礼を実施することで毎日職員間で情報を共有し、業務の改善に努めています。	・これからも継続していきます。情報共有やフィードバックを行うため、全員が確認できるツールを使用していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・毎年実施していきます。	・保護者等の意見を把握し、これからも業務改善に取り組んでまいります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・毎年実施し、自社のホームページ及び名古屋子ども発達支援サイト「すてっぷサポート」にて公開していきます。	・これからも継続していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・適切な運営を行うべく外部の評価体制を取り入れて参りたく、鋭意検討中です。	・現在、導入に向けて調整中です。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・社外、社内研修を通じて研修を行い、職員の資質の向上に努めています。利用者児童が幅広いため、年齢や発達段階、特性に沿った研修を受けています。	・これからも継続していきます。
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・職員間で支援会議を行い、意見を踏まえて支援計画を作成しています。	・これからも継続していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・アセスメントシートを使用し、状況を把握しています。	・毎年アセスメントツールの内容を確認し、その都度適した項目が検討しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・ガイドラインに沿いつつ、利用している子どもの姿にあった具体的な支援内容を設定しています。	・支援計画の説明の際に、支援内容について保護者の方にもわかりやすいようお伝えしています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・支援会議や日々の朝礼終礼の中で支援について話し、職員間で共通理解を持ちながら支援にあたっています。	・療育について研修を行い、支援方法のスキルを上げていくとともに、さらに日頃から職員間の意見交換を活発にし、日々の支援や個別支援計画を振り返り常に意識できるよう努めています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・職員会議で意見を集め、担当者が決定しています。	・これからも継続していきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・月ごとに活動計画を立て、様々な活動が実施できるよう工夫をしています。	・これからも継続していきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・グループ療育が中心だが、必要に応じて個別での療育の機会を設けており、個々に合わせて実施しています。	・これからも継続していきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・日々の朝礼終礼にて活動内容や子どもの支援について話し合い、打ち合わせの時間を設けています。	・事前の打ち合わせ、事後の振り返りは大切なので、これからも継続していきます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・終礼にてその日の活動内容の振り返りや子どもの様子、支援について話し合いをしています。	・これからも継続していきます。

適切な支援の提供	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々の支援の中で、気になったことや気づいたこと、子どもの様子、支援内容などその都度話し合い記録を残しています。	・これからも継続していきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・3ヶ月～6ヶ月おきのモニタリング会議の実施を行い、その内容をもとに個別支援計画に反映し見直しを行っています。	・これからも継続していきます。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者が参加しています。	・これからも継続していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・行っています。	・今後もより多くの関係機関と連携していきたいと思います。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・現在医療的ケアが必要なお子さんをお預かりしていません。	・今後、医療的ケアが必要なお子さんをお預かりした場合、検討していきたいと思います。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		・現在医療的ケアが必要なお子さんをお預かりしていません。	・今後、医療的ケアが必要なお子さんをお預かりした場合、検討していきたいと思います。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・特に移行支援としては行えていませんが、相談員とのやりとりやサービス担当者会議で情報交換を行っています。	・各機関との情報共有をし、移行支援をスムーズに行えるように準備していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・特に移行支援としては行えていませんが、先生と日々の生活や子どもの様子など情報交換を行っています。	・学校との情報共有をし、移行支援をスムーズに行えるように準備していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・現在はコロナ感染予防の観点から行っていないが、専門機関と連携して支援ができる体制を整えるべく検討中です。	・今後進めていけるように情報を集めていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・保育所等と併用されている方が多いため、行っていない。	・情報収集し検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・現状積極的参加ができていません。	・参加していきたいと考えていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳や送迎時にお伝えしています。必要に応じて電話等でも連絡を取るようにしています。	・これからも継続していきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・プログラムとしては行っていないが、個別の相談に応じ、支援しています。	・今後、実施に向けて検討していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に説明をしています。	・これからも継続していきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・支援計画作成時と更新時に支援内容について説明を行っています。	・これからも継続していきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・相談があった場合は、送迎時や電話にて対応し、職員間で情報共有しています。	・これからも継続していきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・行っていない。	・プログラムの希望があったため、今後実施に向けて検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・個別の相談があった場合には、職員間で話し合い、速やかに対応させていただいております。	・これからも継続していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・SNSを使い動画など多様な発信方法をとっている。また、自社のHPIにて行事予定など配信しています。	・より多くの方に見ていただけるように広報活動にも力を入れ、周知していけるようにしていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・全職員が秘密情報の保持について誓約書を書いています。	・定期的に写真等の個人情報の取り扱いについて職員間で確認します。

保護者への説明責任等	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・構造化や情報の図示などしています。 ・利用日の確認や送迎時刻の連絡などこまめにLINEで伝達している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮事項を職員間で共有し、よりよいものを作成して連絡ミスがないようにいたします。 ・個別に伝えるには、意思疎通の手段や選択肢を複数用意し、具体化できるようにします。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・現状、新型コロナ感染予防の観点から行っておりませんが、地域に根付いた運営を行う方法を現在模索しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こういった形で導入ができるか検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にマニュアルの見直しを行っています。 ・訓練なども月に1度実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも継続していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、非常災害を想定した避難訓練の実施や防災についての学習を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで以上に子どもたちが非常災害を身近に感じ、考えられるような訓練や学習を考えていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに保護者から情報を得ています。日頃の様子については、連絡帳等で保護者から情報を得ています。坐薬保管が必要な方には医師の指示書をいただくように伝えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも継続していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からアレルギーの情報を得ています。その際、医師からの詳細についても確認しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要であれば医師の指示書をいただくよう対応します。 ・職員間での情報共有をより進めていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・事案発生時には、朝礼終礼で職員間でこまめに情報共有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各スタッフがすぐに手に取って振り返られるように事務所内の目につく場所に格納できるようにしていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待に該当する行為について職員間で確認しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に研修を行い、意識の向上に努めていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束について職員間で確認しています。現在該当する利用者はいません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて保護者への事前説明を行い、支援計画書に記載します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。